

学校教育目標	中・長期的目標	総合評価
1 高い知性と豊かな心、健やかな体を育み、自ら考え探究する力を養う。 2 個性や能力を伸ばし、自主・自立の精神と敬愛・協同の精神を培う。 3 社会の一員としての自覚を高め、進んで社会に貢献する人物を育てる。 4 国際社会を深く理解し、平和を希求する人物を育てる。	(1) 生命・人権尊重の精神と敬愛・協同の精神を養い、安心・安全な学校づくりを行う。	生徒にとって安心・安全な学校づくりのため、全職員が継続して課題に対応していく。職員間の情報・課題の共有をより綿密に行い、複数人体制での対応を徹底する。
	(2) 生徒の主体性を育み、個性の伸長と智・徳・体の育成を図り、探究的な学びを通して学力の向上を図る。	SSH委員会を中心に課題研究を中核とした探究的な学びに取り組み、主体的に学ぶ力を育成した。新学習指導要領に示された3つの力の育成を図るべく、取り組みを継続する。
	(3) 開かれた学校づくりと地域や外部機関との連携を推進し、生徒の社会参画の力と未来を創造する力を育てる。	2回の授業公開に加え、地域ボランティアや飯高生チューターを実施した。SSH事業などにおいても外部機関との連携を積極的に行った。
	今年度の重点目標(評価項目)	成果と課題
	① 互いの存在を認め合う人間関係を構築するため、様々な場を通じて人権意識の啓発と尊重に取り組む。	生活指導係を中心に、人権教育を通じて人権意識の涵養に努めた。SNSを通じたトラブルについては、その特性を理解・共有し、常に注意していく必要がある。
	② 学校全体で「探究的な学び」に取り組むとともに、将来展望をふまえた多様な学びや学校のあり方を検討する。	全学科で課題研究に取り組み、探究的に学ぶことができた。今後の生徒数の減少を見据え、学科や教育課程のあり方を継続して検討していく。
③ 「主体的・対話的で深い学び」の推進と進路実現に向け、授業改善と生徒自らが考える力の育成を図る。	各教科で「主体的・対話的で深い学び」ができる授業を開発・実施している。また、教科横断型授業にも取り組んだ。ICTを活用した授業についても継続して研究していく。	
④ 学校と家庭、地域との連携及び協力のもとに教育活動を進めるとともに、情報発信の充実を図る。	学年・学級PTAを実施した。ホームページの定期的な更新や「飯高ジャーナル」の発行、SNSの利用など、迅速な情報発信に努めた。	

A(よくできた) B(だいたいできた) C(やや不十分) D(不十分)

重点目標	評価項目	主となる分掌	評価の観点	評価%				成果と課題	改善策
				A	B	C	D		
①	互いの存在を認め合う人間関係を構築するため、様々な場を通じて人権意識の啓発と尊重に取り組む。	1学年	・生徒ひとり一人が、高校生活に適応し、新たに出会った仲間と絆を深めていけるように支援することができたか。そのうえで、進路への意識を明確にし、日々の学習に対して前向きに取り組めるよう指導することができたか。	46	46	8	0	HR活動や個人面談などを通じて、生徒の学校生活の様子を注意深く観察することを心がけた。生徒の状況に変化があった際に、素早く対応することが課題である。また、進路学習については、学問分野や職業について研究することをはじめ、フィールドワークやサイエンスツアーで視野を広げることも意識した。日常の学習時間の確保は課題である。	①担任を中心に、副担任、クラブ顧問も関わってもらいながら、生徒の様子について引き続き見守り、情報を共有する。 ②スタディサプリなどを利用して、学習目標、学習時間を可視化していく取り組みを行う。
		2学年	・学校生活の諸場面において、他者を理解し、尊重する態度を育むことができたか。特に文化祭や研修旅行などの行事を通しては、周囲と折り合いをつけながら一つのことを創り上げる達成感を味わうように支援することができたか。	40	62	0	0	2学年最大の行事である研修旅行において163名全員が参加して無事に行事を終了することができた。研修旅行のプログラムでは他者と協力して目的を達成したり、平和学習や文化学習において現地での貴重な体験を積むことができた。文化祭では先輩方の功績を受け継ぎ、来年に向けて動き始めている。	①文化祭の全体の目標を持ち実施する必要がある。 ②クラブでのリーダーシップを發揮して協調性や団結力を高めてほしい。 ③進路実現のために、学習時間の確保が必須である。
		3学年	・最上級生としての自覚を持ち、生徒会活動やクラブ活動等に主体的に取り組む中で人権尊重の意識の高まりを促すことができたか。また、進路指導を通して、生徒一人一人が自分の生き方を決定し、将来をデザインできるように支援することができたか。	54	46	0	0	生徒会やクラブ等の集団活動を円滑に進める中で、人権尊重の意識を涵養することができた。きちんとした生活習慣(授業、清掃、挨拶、提出期限の厳守、私物の管理等)が、人権感覚の高まりや将来デザイン構築に与える影響は大きいと思われる。最上級生として、各人が自立した日常を送れていることが学校全体の雰囲気や下級生に好影響を与えるのではないかと。	
		生徒会係	・生徒会活動・クラブ活動等の自主活動を充実させ、生徒一人ひとりが活躍できるよう支援することができたか。	31	62	8	0	・前年度の反省を生かし、文化祭はじめ各種行事では生徒の手で積極的に改革を進め、生徒たちの生き生きとした姿が見られた。この流れが次世代にも受け継がれていくよう、支援していきたい。	・各種活動の目的への意識をはっきり持たせて、さらに生徒会活動・クラブ活動の内容に磨きがかかるよう目を配ってほしい。
		生活指導係	・人権尊重と、いじめ・暴力のない安心安全な学校づくりができたか。 ・多様な生徒に対し、生徒相談の体制を充実させる事ができたか。	31	54	15	0	・暴力事象は発生していないが、SNS上での思慮に欠けた送信事象が発生した。 ・多様な生徒に対応するため、生徒相談室も男女別にあつたらと思うことが多い。	・他人を思いやる人権意識の啓蒙をさらに講じていきたい。
		保健環境係	・生徒の心身の健康を支援する活動や全体での取組みができたか。	46	54	0	0	・今年度、生徒の心身の健康を支援する活動ができた。また、救急救命講習会を行ったところ多くの生徒が講習に参加した。 ・学校全体的に、体調不良者が多い。	・感染症対策の呼びかけ、自己の免疫力の向上に関して呼びかけなどの取り組みを行う。
		環境整備係	・校舎を長く気持ちよく使えるように美化に努め、望ましい教育環境の整備ができたか。	39	62	0	0	・通常清掃はよく取り組んでいるが、さらに徹底したい。 ・清掃用具庫の整理整頓、速やかな用具の補充ができた。	・美化委員と協力して見廻りなど通常清掃をさらに充実させる。 ・各清掃分担区の用具の過不足の確認をし、余分な用具の購入を避けたい。

②	学校全体で「探究的な学び」に取り組むとともに、将来展望をふまえた多様な学びや学校のあり方を検討する。	各教科	・各教科の特性を踏まえ、ICTの有効的な活用を含めた生徒の能力や個性および各学科の実態に即した指導を研究することができたか。	29	71	0	0	教科ごとの特性に応じて、ICT機器の活用等について研究を進めた。	他校の情報なども積極的に収集し、よりよい授業づくりを進める。また、教科間の情報共有や連携にも取り組む。
		普通科	・多様な生徒の能力、個性、進路希望に応じた学習環境を整備し、進路指導することができたか。	39	54	8	0	多様なニーズに対応したカリキュラムを用意しているが、クラス減等を見据えて整理・検討していく必要がある。	カリキュラムの整理・検討を進める。
		探究科	・探究活動や課題研究の中で、各教科で学んだ知識・技能を応用することで学習の深化・高度化を図れたか。 ・国際的・地球規模の視野を持ち、課題発見力、解決力及び情報発信力を育成できたか。 ・高い目的意識と進路実現に向かう姿勢をつくることができたか。	54	39	8	0	多くの大学や研究機関、企業等と連携して授業を行った。 韓国海外研修を実施し、事前学習を含めて質の高い研修を実施することができた。 科学系コンテストにおいて、化学グランドコンテスト、学生科学賞、総文祭予選等で多くの成果を挙げた。 世界大会への推薦を受け、1等を受賞するなど、世界に通用する研究が生まれた。 探究活動と通常教科の連携、授業改善に向けたとくみが課題である。	探究学習に関する教員研修の機会を設定する。 継続的な海外との交流を計画する。 一般教科における探究活動の普及を推進する。
		スポーツ科学科	・学科の特徴を踏まえ、生徒の能力・個性に応じた指導で学力を伸ばすことができたか。 ・専攻種目の指導を通して、競技力の向上を図ることができたか。 ・課題研究に積極的に取り組むことで、課題発見能力、課題解決力とプレゼン能力を伸ばすことができたか。	46	46	8	0	・スポーツ科学科として、必修科目のスポーツVIでは1年時から体づくり運動を学び、その学びを活かして3年時では、運動指導の実践など専門学科として学びを深めた。 ・専攻種目ごとに競技力を向上させてきている。県大会、全国大会、世界レベルの大会などで生徒の活躍がみられた。 ・課題研究では、学校全体での取り組みも含め、課題発見力やプレゼンの力が年々上っており成果を感じている。	・スポーツVIでの小学生への指導は年2回を計画しているが、今後も指導する場を増やし経験値を上げていく必要がある。 ・課題研究や専攻で、成果を上げている生徒がいる反面、伸び悩んでいる生徒もいる。指導者の数にも限界があるので、課題研究での学びを活かし、1人1人が主体的に自身の競技力向上に取り組める指導を工夫していきたい。
		学校運営会議	・SSH第Ⅲ期の指定や昨年度より実施されている新学習指導要領をふまえて、「3つの方針」「グランドデザインのブラッシュアップを含めた将来展望について議論を深めることができたか。	23	46	31	0	ビジョン検討部会を中心に、将来展望や今後の学校のあり方についての議論を行った。	学科ごとのコンセプトの明確化など、様々な課題の解決に向け議論を深める。
		カリキュラムマネジメント委員会	・学習指導要領改訂に伴う新教育課程について、各部署から意見を集約し、よりよいあり方を検討できたか。 ・新たな評価のあり方の研究を進めることができたか。	23	54	23	0	R7年度入学生の教育課程について、学級減を踏まえての検討を進めた。学科ごとの特色の明確化や様々な進路希望に対する対応などの面で改善が必要である。	他校の教育課程を参考にして、長期的な視点でのカリキュラム作成を目指す。
③	「主体的・対話的で深い学び」の推進と進路実現に向け、授業改善と生徒自らが考える力の育成を図る。	各教科	・授業内容、授業方法について各教科で研究し、課題を発見する力など、社会が求める「新しい学力」の向上を目指すことができたか。	21	64	14	0	各教科の特性に応じ、ICTの活用も含めた授業内容、方法の研究を進めた。	教科間連携も含め、効果的な授業内容、方法の研究をさらに進める。
		進路指導係	・「主体的・対話的で深い学び」の取り組みを通し、進路意識の向上と生徒一人ひとりの進路実現を図ることができたか。 ・模擬試験の分析結果等を学年・教科・生徒と共有し、生徒自身の主体的で深い学びへとつなげることができたか。 ・学びの基礎診断等の結果を分析し、授業に取り組む姿勢や家庭学習の問題点を明らかにし改善することができたか。	31	62	8	0	【就職指導】公務員は1名合格。不合格者は専門学校入進学予定。民間企業は売り手市場であり、民間企業就職希望者は10名が希望の事業所に内定。 【進学指導】国公立大学の公募制学校長推薦では9名が合格した(昨年比+2名)。進学意識を持たせるために、第一志望届への取り組み、学習研究、学校研究等を早期に実施することができた。年内合格を目指す生徒が増えていることを踏まえ、探究活動をどのように進学に結び付けていくかさらなる研究が必要である。	・就職希望者は2年次からの取組が必要である。 ・受験科目の把握と教科担任の連携(特に文転者)。 ・欠席、時間厳守、挨拶、身だしなみ、清掃等日常生活指導を進路の観点からも全職員で取り組むべき。 ・探究活動と進路指導の連携をとりながら進学指導を進めていく意識を全職員で共有する。
		飯山カリキュラム委員会	・地元の中学校と連携をとり、数学・英語を中心に各教科の学力向上のための取り組みができたか。 ・高校生チューターにおいて、生徒が主体的に中学生へ対話することを通して、進路実現の見直しにつなげることができたか。	23	46	23	8	・城北、城南、野沢温泉中学校と連携をとり、継続的に中学生との交流することで、中学校の学習がどのように高校での学習につながるかを説明し、高校での学習意欲向上に努力した。 ・夏秋の2回の高校生チューターにおいて、本校生が各自で工夫しながら積極的に教科指導に当たり、中学生にも好評を得た。高校生は将来教員に、中学生は本校入学を志望する生徒もいた。	・中高交流においては、中学と高校で互いに目的をしっかりと確認し、教員同士の連携を密にとる。 ・年度当初に本事業の目標を再確認し、授業担当者間で取り組み方について確認する。特に年間を通じての計画を立て、見直しをもって授業交流に臨めるようにする。 ・引き続き飯高チューターを夏秋に実施し、多くの中学生や高校生チューターの参加を呼び掛ける。学生同士の交流を通じて中学生に本校の様子を知る機会を設ける。
SSH委員会	・各教科の「主体的・対話的で深い学び」ができる授業を開発実施することで生徒の興味と疑問を喚起し課題研究に繋げることができたか。 ・「課題研究」を中心に据えた教育プログラムにより課題発見力・設定力・解決力及び情報発信力を育成することができたか。 ・ルーブリックやポートフォリオを活用することで、生徒の成長や教員の授業改善に繋げることができたか。 ・科学系コンテストや対外的な活動に参加するなど、積極的に情報発信できる生徒が増加したか。	46	54	0	0	・学校全体で「課題研究」に取り組むことができた。12/14県探究フェスティバルには探究科に加え普通科からも発表に参加し、ポスター7件口頭5件の発表を行った。 ・学校全体での発表会(3/6なちゅうら)を行うことができた。 ・1年生探究基礎SS1を同時展開し、年間通じたプログラムを実施できた。 ・台湾(ナカオカ)のTISFで生化学部門第1位、化学グランコン第2位、学生科学賞本選出場、全国総文祭2部門出場決定など、対外的なコンテストで成果を挙げた。 ・課題研究やSSHの取り組みをいかに進路につなげていくかは課題。 ・学校全体での意思統一と指導力向上は引き続きの課題。	・教科・授業との連携をすすめる。情報・数学と連携し、データ処理のプログラムを導入する。 ・科学コンテストへの参加を奨励する。 ・探究基礎SS1のプログラムの改良・改善する。 ・SSHコーディネーターの活用をすすめる。 ・教員の指導力向上にむけて研修を計画的に行う。		

		ICT情報処理係	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末が整備され、それを生徒が授業等で十分に活用できるようなICT機器の整備をすることができたか。 ・クラウド型授業導入アプリを導入し、教員が授業で活用できるように研修会を計画することができたか。 	39	54	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・1学年がiPadを個人端末としたことで、各教室に整備してあるタイプC端子でスクリーンに投影できないので、変換器の整備を行った。また、HR管理の備品の整備に取り組んだ。 ・ロイノット、Google、生成AI、Canvaのオンライン研修会を計画し実施した。参加人数は、5~10名ほどであったが、継続して研修会を開催したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各HR教室にある電子ペン、各種ケーブルは消耗品なので、破損した場合に授業への支障がないように、整備を行う。 ・研修については、職員の要望等に応えながら引き続き計画していく。
④	学校と家庭、地域との連携及び協力のもとに教育活動を進めるとともに、情報発信の充実を図る。	教務係	<ul style="list-style-type: none"> ・学校HPや飯高ジャーナル等を通して情報を速やかに発信することができたか。 ・公開授業や体験入学に多くの参加者を得ることができたか。 ・ICTを活用し、生徒・保護者との連携を図ることができたか。 	31	69	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・学校HPの定期的な更新や情報の整理に努めた。飯高ジャーナルの発行は季刊としたが、今年度から新たに運用が始まった公式インスタグラムの周知に努めた。 ・2回の公開授業を実施した(5月25日:123名、9月30日:43名)。体験入学では中学生243名の参加者を得た(昨年度229名)。 ・Googleフォームでの欠席連絡により、職員間での情報共有を円滑に行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信について、係内の業務分担や内容の整理を行う。公開授業により多くの参加者を得ることができるよう、より効果的な中学生への周知・PRの方法を検討する。
		PTA厚生係	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会への参加率向上が図れたか。 ・PTA行事の企画運営を保護者とともに進めていったか。 ・PTA会報の発行等とおして情報発信が図れたか。 ・活動内容・時期の見直し・精選等が行えたか。 	46	54	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・総会の出席は495名中475名(出席127名、委任状348名)でした(昨年度は540名中511名(出席129名、委任状382名、一昨年度は571名中476名(出席103名、委任状373名))。生徒減の中で、僅かながら参加率向上ができました。 ・2020年度より続いた新型コロナウイルス沈静後、以前のように予定された全ての事業計画が、昨年同様実施できました(支部総会を除く)。行事の企画運営については、正副会長をはじめとして保護者と連絡を密に取れたと思います。 ・昨年並みの分量の紙面で会報を組む事ができました。 ・強歩大会時における有志ボランティアは、関門等での給水補助、ゴールでの飲料・軽食配布という方式で昨年より、多くの会員協力のもとで実施できました。支部PTA総会については、昨年度より正副会長段階での丁寧な検討を経て評議員会で議され、総会にて廃止が決定されました。一昨年度、活動内容の見直し・精選が行われ、文化祭におけるバザー等PTAによる協力は廃止となりましたが、コロナ鎮静化等に鑑み、来年度何かしらの形で文化祭に関わる手だてが検討され始めました。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度以降、どのような活動が可能なのかは、学校職員とも連携しながら、意思決定会議である幹事会・評議員会・総会で議論していきたいと思えます。
		生徒会係	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が積極的に社会の動きに目を開き、地域の行事や社会活動などに参加、協力できるよう、生徒会活動・クラブ活動等を支援することができたか。 	33	58	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・例年どおり要請のあった灯籠まつり、赤い羽根共同募金、えびす講などに協力することができた。さらに積極的に地域と関わろうとする活動ができることよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やや活動が内向きな面があるので、社会に目を開き、必要な活動を積極的に取り入れていけるような支援もしていきたい。
		同窓会係	<ul style="list-style-type: none"> ・桂雪会WEBサイトや桂雪会報によって多くの情報を発信ができたか。 ・創立120周年記念事業実の合宿所改修が実施できたか。 ・同窓会名簿の発行が適切に実施できたか。 ・同窓生による“ホームカミングデー”の企画検討が進んだか。 	39	62	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・120周年記念事業である合宿所改修は、予定外の修繕箇所などもあったが、ほぼ予定通りに工事が進み、10月末に引き渡しとなった。学習室・会議室などとして新年度以降有効に利用してほしい。 ・5年ごとの同窓会名簿の発行は1月に行われた。名簿発行はプライバシーにかかわる事項であるから、次回以降、掲載内容など慎重な対応が必要であろう。 ・ホームカミングデー実施については、具体的な内容・卒業生への連絡方法など検討すべき課題が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームカミングデー実施について、同窓会役員会などで実施にかかわる意見交換を行う。